

## 5. 大学研究解題:豊かで魅力ある地域の生活場の創出 まちづくりと景観

[Japa 理事 佐竹 弘:元産学連携学会長・徳島大学教授]

地域における生活場づくりには、地域資源の発掘・維持とその価値化が求められる。地域の景観（風景）は地域特有のものであり、人々を癒し、地域の思いと価値と高め、地域経済の基盤ともなる。また、人との出会いや人の移動を促進し、地域の安定した生活場を構築する一つの重要な地域資産である。

国土交通省<sup>\*1</sup>、文部科学省などの競争的資金を活用した数多くの研究が大学でも実施されている。また、大学には景観まちづくり研究室<sup>\*2</sup>、景観デザイン研究室、景観政策学研究室、景観研究室、景観・緑地環境マネジメント研究室などが研究者主導で立ち上げ、学生、地域自治体、地域住民を巻き込んだ取り組みが盛んに実施され、多くの研究成果が報告されている。<sup>\*3</sup>

\*1: [http://www.mlit.go.jp/crd/townscape/shien/keikan\\_sogo.htm](http://www.mlit.go.jp/crd/townscape/shien/keikan_sogo.htm)

\*2: 例えば、<http://www.ccn.yamanashi.ac.jp/~ooyama/ohyamaken/H0.html>

\*3: 各研究室の URL とその活動目標をまとめています。

URL: <https://japa-utob.wixsite.com/sangaku-renkei/about-1-cbig> 参照)

景観には、自然景観、歴史・文化的景観、都市空間デザインによる人為的景観など地域によって特徴ある自慢の景観が存在する。地域のまちづくりには、街並み、海岸、河川、里山、棚田、文化、歴史建造物など数多くの貴重な資源が活用され、地域の魅力発信、観光まちづくりを目的とした景観づくりや景観保全が自治体等を中心に行われている。

地方創生事業では、地域の人口減少に歯止めをかけ、地域への移住を促す一方策として景観の創出、保全によるまちづくりが大きな柱になっている。魅力ある景観の発信は、ひと・もの・かねの流れを作り、地域を活性化する。地域の魅力ある景観は観る人に「心の癒し」、「感動」を与え、さらに、地域住民のコミュニティ形成、地域生活環境の安定と向上の礎となる。

このため、今回は「豊かで魅力ある地域の生活場の創出：まちづくりと景観」をテーマに、まちづくりにおける景観研究に取り組んでいる研究者、研究成果の一部を紹介することとする。

大学における景観研究を、図1に示すように、1) 法律、評価、方法論など基盤的研究、2) 景観づくり手法、3) 地域の自然景観、歴史・文化的景観資源による景観創出を支援するマネジメント、4) 都市空間等の景観デザイン、5) 生活環境場の景観保全・創出（生活景観）、6) 景観の人の心理等に与える影響などの解析・評価に分類し、多数の研究者から69件を抽出して紹介する。

調査した研究者・研究活動は下記のURL<sup>\*4</sup>にまとめて紹介している。研究者の活動、研究内容は、URLをクリックすることにより、詳しく確認することができる。

\*4: <https://japa-utob.wixsite.com/sangaku-renkei/160220>

調査データは、下記のような項目に分類し、研究者の研究内容・研究活動の URL、実施された研究課題やその内容（URL のみ）を紹介している。紹介する研究等は下記のように分類してまとめている。

- (1) **景観法・景観解析**<sup>\*5</sup>：①景観法：景観法の解釈と活用、②景観論：景観の論理的解析、③景観計画：景観計画、景観設計など景観の論理的解析・創出計画  
\*5：景観三法：<http://www.mlit.go.jp/crd/townscape/keikan/index.htm>
- (2) **景観づくり手法**：①景観まちづくり：手法・解析・評価、②市民参加型景観まちづくり：住民の合意形成
- (3) **景観マネジメント**：景観保全、景観創出のマネジメント
- (4) **景観デザイン**：①空間デザイン：自然空間、都市空間における景観デザイン、②地域デザイン、③色彩景観：景観への色彩の影響と人への心理効果、④環境デザイン
- (5) **生活環境場の景観**：①橋と景観：人工橋の自然との景観、②街並み景観：商業、生活など人の活動場の景観の保全・評価、③都市景観：都市緑化、街路・道路景観、広告と景観、街路樹など日常生活空間の景観評価・心理的影響など、④生活景観：人の活動場景観
- (6) **景観資源とその活用**：①歴史・文化的景観<sup>\*6</sup>：庭園：温泉街：界わい景観など文化的景観の評価・活用、②自然景観：農村景観、田園景観、山岳景観、海岸・水路景観など自然資産による景観の保護・活用  
\*6：文化的景観研究紹介：<https://bit.ly/3eMwKbB>
- (7) **景観分析・感性分析**：①視覚的認知：日常生活空間における心理的認知、②景観評価：AI (深層学習) やアンケートによる景観評価<sup>\*7</sup>  
\*7：[https://jglobal.jst.go.jp/detail?JGLOBAL\\_ID=201902282453113966](https://jglobal.jst.go.jp/detail?JGLOBAL_ID=201902282453113966)

今回は、まちづくりの観点から大学の景観研究を大まかに分類して紹介した。地域経済の活性化に欠かせない、観光面からとらえた景観づくりは次回に紹介することとします。

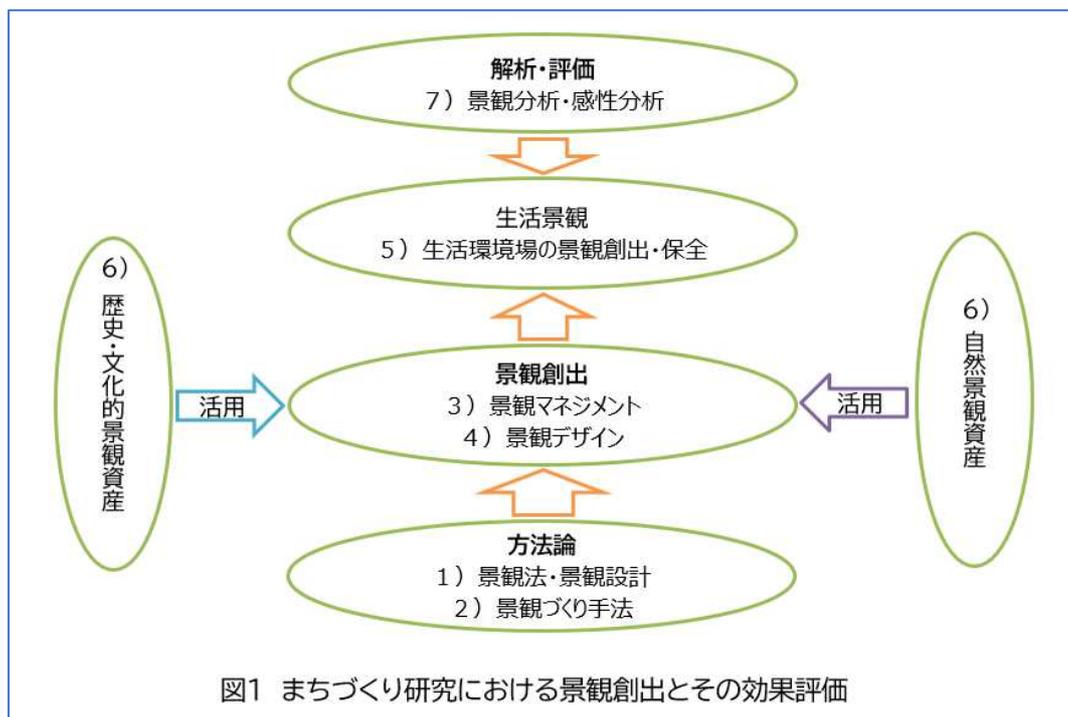


図1 まちづくり研究における景観創出とその効果評価